

第 22 回運営会員通常総会

今年度、運営会員総会を開催するにあたり、その方法については様々な議論がありました。昨年は、新型コロナウイルスの感染状況により書面開催でした。しかし 2 年続けての書面開催は避けたい、対面にしたいとの意見がありました。

ただ、対面のみでは不安として Zoom 会議システム併用の形式を試みました。初めてのことで不安もありましたが、セッティング担当の鵜飼良機理事と鵜飼久美子さんがホールに広角度のカメラを設置するなど、いろいろ工夫して臨みました。マイクの角度による聞こえなどハード面の問題も出ましたが、すぐその場で解決され、全般的には成功だったと思います。

今後、このような形式を利用する機会が増えていくかもしれません。

(堀内紀子)

総会挨拶

本日は、ぶどうのいえ第 22 回運営総会にご出席、ありがとうございます。
ぶどうのいえは昨年 11 月 16 日に活動を再開しました。しかしその後のオミクロン株の感染拡大でボランティアの自宅待機が続いています。
その中で、1 月に 2 組、3 月に 2 組の予約を受けています。施設の社会的な使命を果たすべく丁寧に対応していききたいと思います。

今、施設内はがらんとしています。滞在者の少ないこの期間に、ハード面の設備充実、パソコン、Wi-Fi 関係等の環境整備、ホームページの刷新等も検討していきます。

財政状況は滞在費収入がない現状で、昔日の感があります。活動していない所には支援も集まりません。活動を続け、社会的な責任を果たしていくことが大切です。幸い、個人の皆様、日立グループ様や学校、知らない企業様からのご支援をいただきました。

新たな財政を考え互いに意見を出し合いながら、2~3 年後にはあの時乗り越えたねと言いつづけることが出来るように、励まし合って仕事を進めたいと思います。今後とも、どうぞよろしくご支援下さいますようお願い申し上げます。

(大隈 廣)

挨拶

ぶどうのいえは、もう何年にもなります。

金井(ご主人金井務氏)から問題を解決するために理事を助けるようにと言われました。何とかこれまで来ました。けっこうな歳になり副理事長を辞任しましたが、顧問という事でできるかなと思いました。

でも最初からいた者としてお呼びがかかればなんとかしようと思います。

91 歳となって足腰も弱り、転ぶこともありましたが、家族も心配しますが、頑張ります。

(金井玲子)

ぶどうのいえ 第 22 回運営会員通常総会

1. 召集年月日 2022 年 2 月 5 日
1. 開催場所 東京都文京区弥生一丁目 3 番 12 号
聖テモテ教会ホール 及び Zoom によるオンライン会場
1. 開催日時 2022 年 3 月 5 日 午後 1 時
1. 社員総数 63 名
1. 出席した社員数 48 名
- 内訳 本人出席 15 名（ホール 8 名、Zoom 7 名）
委任状出席 33 名

1. 開会

定刻に至り議長が開会を宣言し、本日の「運営会員通常総会」は定款所定数を満たしているため、有効に成立していることを報告、出席者の確認をもとめたところ、満場一致をもって確認された。続いて議長より開会挨拶の後、議案の審議に入った。

2021 年度（第 22 期）事業報告

事業年度 2021 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日

〔事業報告〕

〔1〕 運営に関する事項

（1）滞在施設運営事業

〈施設利用状況〉

2021 年度は、11 月 16 日～12 月 27 日に 1 室を運用し、5 名の方が利用された。

家族数 3 大人 4 名、子ども 1 名

ボランティア延べ人数 58 名

〈利用病院状況〉

東京大学医学部附属病院	1 名	
日本医科大学附属病院	1	
東京慈恵会医科大学附属病院	1	計 3 名

〈ボランティア業務状況〉

・登録ボランティア数 26 名

・業務内容

（1）受付業務 月曜日～土曜日 10:00～17:00

内容 予約受付・部屋割り・入退室事務（会計、精算を含む）

館内案内・業務ノート作成・その他

一日平均人数 全時間対応 1～2 名

任意時間対応 1～2 名

今年度 延べ人数 58 名（11～12 月のみ） 勤務時間短縮 11:00～15:00

（2）施設清掃 月 1 回（第 3 水曜日 10:00～11:30）大掃除グループ 4～5 名

今年度は活動中止

（3）ケーキ作り 月 1 回（第 1 日曜日 販売）ケーキグループ 3～4 名

今年度は活動中止

〈清掃整備業務（有給）〉

- ・勤務 週 4 日 3 時間/日
 - ・内容 全館共有部分清掃 各室清掃・リネン交換・設備の管理
- 今年度は従事者なし
- 定期的な清掃は、専門業者に委託 全館共有部分清掃・各室清掃

〈事務局長業務状況（有給）〉

- ・事務局長勤務時間 1 月～12 月 原則 月・金 10:00～17:00
 - ・内容 会計・渉外・予約受付・部屋割り・入退室事務・館内案内
- 今年度は従事者なし 事務担当理事および事務局員が代行

〈夜間管理人業務状況〉

- ・勤務時間 1 月～12 月 7:00～8:00 および 21:00～22:00
- ・内容 全館巡回・ゴミ出し

〈理事会〉

			出席	欠席委任状
第 115 回	2 月 13 日（土）	13:20～15:00	6 名	9 名
臨時理事会	3 月 6 日（土）	（運営会員総会終了後に開催予定） 開催中止		
第 116 回	5 月 16 日（土）	開催中止		
第 117 回	7 月 11 日（土）	開催中止		
第 118 回	9 月 25 日（土）	13:00～14:30	7	7 Zoom
臨時理事会	10 月 30 日（土）	13:00～15:00	7	7
第 119 回	11 月 20 日（土）	13:00～15:30	6	8

〈常任幹事会〉 理事長 副理事長（2 名） 事務担当理事 顧問 事務局員

2 月 5 日（金）	20:00～21:30	Zoom
2 月 26 日（金）	20:00～22:00	Zoom
4 月 2 日（土）	20:00～22:00	Zoom
8 月 7 日（土）	20:30～22:00	Zoom
7 月 2 日（木）	20:30～21:30	Zoom
9 月 10 日（金）	20:00～21:30	Zoom
9 月 17 日（金）	20:00～22:00	Zoom
10 月 13 日（水）	20:00～22:00	Zoom
11 月 11 日（木）	20:00～22:00	Zoom
12 月 17 日（金）	20:00～22:00	Zoom

〔II〕 広報活動に関する事業

〈施設訪問〉

- ・本年度は中止

〈チャリティー事業〉 外部の支援者による開催

- ・バザー 東京聖テモテ教会内外の有志 →本年度は中止
- ・語りの世界 尾松純子氏 →本年度は中止

〈啓蒙活動〉

- ・季刊紙「ぶどうのいえだより」
5 月、12 月発行
- ・ホームページ 随時更新
- ・ぶどうのいえ来訪者
10 月 25 日 坂本三重子様 源弥様 元滞在者 ご訪問・ご寄付
12 月 6 日 弥生一丁目町会様 ご寄付
12 月 9 日 五十嵐富美様 「国際ソロプチミスト東京-弥生」 ご寄付
12 月 19 日 相原碧様 元滞在者 ご訪問
12 月 24 日 目白クラブ様「日立リアルエステートパートナーズ」様の物品ご寄付

〔Ⅲ〕援助・支援に関する事業

今年度は電話連絡による近況の情報交換のみを行った

- ・守口ぶどうのいえ →本年度は中止
- ・京都ぶどうのいえ →本年度は中止
- ・がじゅまるのいえ →本年度は中止

〔Ⅳ〕目的達成に関する事業

〈ボランティア打合会〉

今年度は休業期間中は月次の例会は行わず、活動再開に向けての打合会を行った

- 10 月 8 日（金） 例会 20:00～22:00 Zoom
- 10 月 22 日（金） 例会 20:00～22:00 Zoom



〈研修会〉

- 1) ボランティア研修会
今年度は開催中止
- 2) 第 22 回 JHHH 全国ネットワーク会議（Zoom）
次年度（2022 年 1 月 22 日）に開催予定

〈表彰〉

「公益財団法人社会貢献支援財団」様より表彰・副賞を受けた

第 56 回社会貢献者表彰

2021 年 11 月 29 日（月）表彰式 10:00～12:20

祝賀会 12:30～13:30

会場：帝国ホテル 本館 2 階 孔雀の間

出席：顧問 金井玲子 理事長 大隈廣 副理事長 堀内紀子

副理事長 西田恵子

－2021年－

収支計算書

[2021.1.1～2021.12.31]

単位：円

科目	予算	決算
収入の部		
事業収入		
滞在費	300,000	2,000
施設利用料	20,000	1,200
その他		
事業収入合計	320,000	3,200
寄付金及び運営会費		
受入寄付金（法人）	2,100,000	2,200,000
受入寄付金	4,000,000	3,427,615
受入寄付金（その他）		1,310,000
受入寄付金（チャリティ）	100,000	0
受入支援金		524,000
小計	6,200,000	7,461,615
運営会費	150,000	180,000
寄付金及び運営会費合計	6,350,000	7,641,615
その他の収入		
受入補助金	0	0
雑収入	0	2,988
受取利息	3,000	569
その他の収入合計	3,000	3,557
収入の部合計	6,673,000	7,648,372

科目	予算	決算
支出の部		
給料手当	2,160,000	1,644,000
報酬	66,126	1,080,000
奉仕員活動費	370,000	66,856
広報費	300,000	460,350
渉外費	40,000	30,000
交通費	350,000	257,268
通信費	400,000	533,052
賃借料	5,508,360	5,508,360
保険料	50,000	44,935
保守修繕費	360,000	0
水道光熱費	1,320,000	1,059,471
公租公課	70,000	72,482
会議費	70,000	29,424
研究学習費	10,000	0
手数料	45,000	72,299
事務消耗品費	400,000	204,832
設備用品費	140,000	49,940
清掃費	660,000	599,400
クリーニング代	50,000	41,580
慶弔費	10,000	0
減価償却費	110,000	135,733
雑費	10,514	2,965
雑損失	0	0
経費合計	12,500,000	11,892,947
予備費		0
支出の部合計	12,500,000	11,892,947
当期収支差額 （当期正味財産増加額）	△ 5,827,000	△ 4,244,575

貸借対照表

[2021年12月31日]

貸借対照表

単位：円

【資産の部】		【負債の部】	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	219,292	預り金	28,800
郵便為替	1,129,402	流動負債計	28,800
郵便貯金	92,385	負債の部合計	28,800
普通預金	503,119	【正味財産の部】	
定期預金	27,099,855	1. 基金	10,000,000
立替金	0	2. 岩井久雄運営基金	20,000,000
流動資産計	29,044,053	3. 積立金	
2. 固定資産		救済積立金	2,936,000
備品	4,571,531	修繕積立金	3,000,000
減価償却累計額	-3,707,273	積立金計	5,936,000
固定資産計	864,258	4. 剰余金	
資産の部合計	29,908,311	期首繰越剰余金	-1,811,914
【負債の部】		当期増減額	-4,244,575
		剰余金計	-6,056,489
		正味財産の部合計	29,879,511
		負債及び正味財産の部合計	29,908,311

2022 年度(第 23 期)事業計画書

事業年度 2022 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日

1 事業の方針

本事業は、難病児とその家族に、居心地の良い環境を経済的に提供する支援を目的としており、今後とも安全・安心な滞在環境の確保をモットーに、安定した受入れ体制の維持と管理に努めていきたい。コロナ禍のため、昨年度からの休業期間は 1 年 9 ヶ月に及び、各事業の進展がなし難かった。今年度は、コロナ禍を越えて事業再建に取り組み、全国の「難病とたたかう子どもと家族」のために役立つ事業を再構築していきたい。

〈滞在施設事業〉

今年度は、滞在施設全般の改修、設備の整備・充実と共に、特に感染症からの防疫力の向上に努めるものとし、そのために必要とされる消毒・衛生関係の設備・機材の確保・整備に傾注し、保健・衛生上の安全性の確保により、安定した事業活動を行っていきたい。

〈広報活動〉

長期の休業期間により、「ぶどうのいえ」の現況や活動内容に遅れが生じている。今年度は特に「ホームページ」による情報発信力を強化するために、ページ企画や構成全般を見直し、日常生活の紹介やイベント等の告知の他、ボランティア募集にも積極的な活用を図りたい。

〈ボランティア研修事業〉

ボランティアを対象とする「感染症対策」の講演会及び研修会等の開催の他、他施設への見学・訪問等を再開し、より積極的な事業参加を得られるように努めたい。毎年参加している「JHHH 全国ネットワーク会議」にも、現在活動中のボランティアが参加できるように配慮し、研修の成果を日常の事業活動での課題解決や具体的な実務改善に繋げていきたい。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業員の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円) (前年度)
管理運営に関する事業 (定款5条の①)	通常の滞在施設運営事業	通年	ぶどうのいえ施設内	ボランティアおよび専従者 30名	慢性疾患児・移植患者とその家族	11,800 (11,010)
広報活動に関する事業 (定款5条の②)	季刊誌発行、ホームページの充実・チャリティー事業、企業・病院訪問	通年 随時	全国発送	10名 (スタッフ)	賛同者の獲得強化にも資する	1,250 (1,050)
			ぶどうのいえ近隣の病院・企業		滞在者への施設情報の伝達・告知	
援助・支援活動に関する事業 (定款5条の③)	守口ぶどうのいえ運営相談	随時	守口ぶどうのいえ	5名 (スタッフ)	守口ぶどうのいえスタッフ	200 (200)
	京都ぶどうのいえ運営相談		京都ぶどうのいえ		京都ぶどうのいえスタッフ	
目的達成に関する事業 (定款5条の④)	ボランティアの研修・勉強会等実施。施設見学・講演会	通年	ぶどうのいえ施設内及び各地	15名 (スタッフ)	ボランティアおよび希望者	300 (240)
合計						13,550

認定NPO法人ぶどうのいえ 令和4年[2022年]予算案

収 支 予 算 案

科目		2020年 実績	2021年 実績	2022年予算案
事業収入	滞在費収入	433,000	2,000	630,000
	施設利用料収入	27,200	1,200	50,000
	その他	0	0	0
	事業収入計 A	460,200	3,200	680,000
経費計 B		11,869,912	11,892,947	13,550,000
(内 予備費)		0	0	
事業収支 A-B		△ 11,409,712	△ 11,889,747	△ 12,870,000
寄附金及び運営会費	運営会費	159,000	180,000	180,000
	受入寄附金(法人)	2,308,000	2,200,000	2,100,000
	受入寄附金	4,447,704	4,737,615	3,500,000
	受入寄附金(チャリティー)	0	0	10,000
	受入支援金		524,000	0
	小 計	6,914,704	7,641,615	5,790,000
その他収入	受入補助金	2,000,000	0	0
	雑収入	0	2,988	0
	受取利息	3,055	569	3,000
	岩井久雄運営基金取崩し			5,000,000
	小 計	2,003,055	3,557	5,003,000
他支出				
	小 計	0	0	0
収入合計		9,377,959	7,648,372	11,473,000
剰余金		△ 2,491,953	△ 4,244,575	△ 2,077,000

経費明細

科目	2020年 実績	2021年 実績	2022年予算案
給料手当	2,288,160	1,644,000	1,110,000
役員報酬		1,080,000	1,110,000
報酬	0	0	50,000
奉仕員活動費	36,980	66,856	400,000
外注費	0	0	0
広報費	304,590	460,350	700,000
渉外費	58,000	30,000	50,000
交通費	395,220	257,268	400,000
通信費	436,826	533,052	600,000
賃借料	5,508,360	5,508,360	5,600,000
保険料	45,724	44,935	50,000
補修修繕費	398,453	0	400,000
水道光熱費	1,067,602	1,059,471	1,500,000
公租公課	70,460	72,482	71,000
会議費	67,777	29,424	100,000
研究学習費	3,490	0	10,000
手数料	66,535	72,299	80,000
事務消耗品費	379,951	204,832	300,000
設備用品費	24,255	49,940	140,000
清掃費	402,380	599,400	600,000
クリーニング代	30,173	41,580	150,000
慶弔費	166,500	0	10,000
減価償却費	118,476	135,733	110,000
雑費	0	2,965	9,000
雑損失	0	0	0
計	11,869,912	11,892,947	13,550,000
予備費	0	0	0
(計)	11,869,912	11,892,947	13,550,000

役員退任の件

退任理事 仲谷芳久

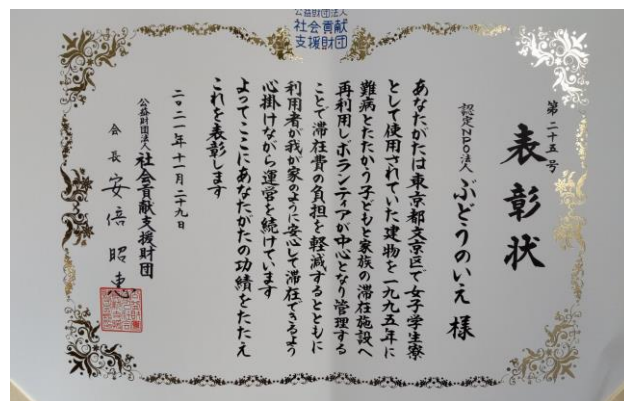
2021年12月30日付

(2021年12月30日逝去)





前列左 金井玲子顧問



社会貢献者表彰受賞して

西田恵子

2021 年 11 月 29 日、公益財団法人社会貢献支援財団主催の第 56 回社会貢献者表彰受賞者に、認定 NPO 法人ぶどうのいえが選ばれ表彰されました。表彰式は、帝国ホテルで午前 10 時半から開かれ、金井玲子顧問、大隈理事長、堀内（紀）副理事長と西田副理事長で出席させていただきました。受賞者は 40 件で、舞台正面の大きなプロジェクターで活動の様子が映し出され、受賞内容が読まれました。

ぶどうのいえの活動は 26 年前にさかのぼるのですが、難病の子どもとその家族が利用できる滞在施設として発足し、「第二の我が家」という理念を掲げて、利用者が安らぎくつろげる施設運営をめざしました。創立時のメンバーたちは一つの活動をたちあげる大きな熱気に包まれていたと聞いていますが、以来その熱気がぶどうのいえを今日まで動かしてきました。精神的にも経済的にも厳しい状況に置かれたご家族に少しでも寄り添い、共に歩んでいくことがぶどうのいえの目的です。このことが受賞理由と聞きました。

活動内容としては、志をひとつにするボランティアたちが、曜日ごとにグループに分かれ、日常業務を担って連携するのが活動の要です。利用者にとっては、滞在費負担の軽減という効果を実現しています。

当初から、日立製作所グループをはじめとする法人やたくさんの個人から寄附が寄せられ、安定運営が継続されてきました。有形無形のご支援やご協力に支えられて成り立つ施設であり、小さくともたくさんの力を結集させることがいかに大切であるかを教えられます。

残念なことに、新型コロナ感染の拡大により 2020 年 3 月から休館を余儀なくされましたが、2021 年 11 月中旬より活動を再開いたしました。時世の変化に前向きに取り組みながら、私たちはご家族のかたわらにさりげなく寄り添うボランティアとして、利用者が心安らぎ励まされる場所となるよう、一層心がけていきたいと改めて思いました。

受賞したことを光栄に思い、これを励みに必要として下さる方々がいらっしゃる限り、ぶどうのいえは難病の子どもとそのご家族のための環境を維持しつつ、使命に向かって歩みつづけてまいります。

（ぶどうのいえ副理事長）

「幸せの黄色いレシートキャンペーン」

事務局 鵜飼 久美子

昨年からぶどうのいえ事務局をお手伝いさせて頂いております鵜飼久美子と申します。勤務を始めてから知った、ぶどうのいえの先輩ボランティア堀楚乃子さんが以前からお世話してくださっている活動についてご紹介させていただきます。

堀さんはイオングループで行われているこのキャンペーンを知り申し込み続けたところ、それが西台ダイエー店で実現したとのことです。毎年登録を更新し続け、半年毎に品々を沢山ご寄付頂いています。これらは滞在者の皆様に重宝に利用して頂き、大変喜ばれています。

毎月 11 日のキャンペーン当日は、店内 20 個程ある専用投函ボックスの近くに立ち、ぶどうのいえのパンフレットを手渡ししながら紹介なさったそうです。

小さなお子さんが『『ぶどうのいえ』ってしてるよ、だってぼく字がよめるもん!』といいながらボックスにレシートを入れてくれたことや、年配の男性から「いつもぶどうのいえのボックスにいているよ」と仰って頂き大変うれしかったというお話も聴かせてくださいました。

いろいろな場で、いろいろな形で、多くの方たちのご支援のおかげで私たちのぶどうのいえの活動は支えられています。そしてボランティアの皆様のさまざまな形の自発的な活動を心から嬉しく感じている今日この頃です。

コロナ禍のためか先日ようやく関係書類が届き、4 月 20 日までに提出して OK でしたら商品の引き渡しが 4 月末日になるとのことです。

堀さん、またよろしくお願いします!



登録している板橋区西台のダイエー西台店の中庭で堀先輩と 2 ショット!



いただいてきた食品を並べてみました。



ぶどうのいえの食堂ホールの「提供コーナー」です。献品していただいた季節の果物や子供さんの喜ぶお菓子も並べます。

★ ありがとうございました

物品ご寄付の方々

敬称略

奥野貢（食品） 吉川由香子（食品） 畠山桃子（菓子） 西沢亜希（衛生用品） 高柳晴香（雑貨）
花王（株）（衛生用品）

（2021 年 11 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）

第 22 回 JHHH ネットワーク会議

西田恵子

JHHH ネットワークは、全国に点在するホスピタル・ホスピタリティ・ハウスのネットワークです。「ハウス」とは自宅を離れて専門病院で治療を受ける子どもと家族が滞在できる宿泊施設のことで、『難病と闘う子どもと家族のための滞在施設』とです。

毎年 1 回、「病院近くの我が家」を運営する全国各地の団体が集まり、日々の活動でそれぞれのハウスが工夫しているところを共有し合い、お互いの良いところを学び、より一層の質的向上を目指すために、このネットワーク会議が開かれます。

ネットワーク会議は 1 月 22 日の 13:30 から 16:15 まで行われ、今年はコロナ感染のためオンライン（Zoom）で行われました。主催は認定特定非営利活動法人ファミリーハウスで、植田洋子事務局長の挨拶で始まり、小山健太理事の進行によって進められました。オンライン（Zoom）の出席者は 70 人で、テーマは「ハウスと小児ホスピスの共通点・相違点を考えよう！」でした。

ハウスには小児ホスピスがもつ機能を病院近くで代替してきたという歴史があります。今回は小児ホスピスの運営者が実践報告をし、ハウス活動との共通点・相違点を検討し、ハウス活動における病気のこどもと家族の支援をより一層充実させることを目指していました。

最初に報告事項として、新しく開設したハウスの、横浜こどもホスピス「うみとそらのおうち」が紹介されてました。一方、閉鎖したハウスも 2 ヶ所あり、岐阜県にある平野総合病院と北海道難病連でした。

次に講演が 3 件あり下記の通りです。

講演① 国立成育医療研究センター（内多勝康ハウスマネージャー）

「もみじの家で取り組んでいるケア」 看取りを見据えた人も受け入れている事や生活の沿線上に第 2 の我が家として運営している話を聞きました。

講演② 公益社団法人こどものホスピスプロジェクトを運営する「TSURUMI こどもホスピス」（水谷コーディネーター）

「子どものやりたいを叶える」 今しかできないを一緒に叶えるようにする。

年間 5500～6000 万円かかるが 95% 寄附で成り立っている。

講演③ 認定特定非営利活動法人ファミリーハウス

「ファミリーハウスで直面している新しいニーズ」

講演後、分科会で「ハウスと小児ホスピスの共通点・相違点」について話し合いました。

私たちの班は 4 人で「あすなろのいえ」埼玉県、「がじゅまるのいえ」沖縄県、「ぶどうのいえ」東京、「ファミリーハウス」芳賀圭子氏でした。

話の中で印象的だったのは、教育委員会を通して保育園などの預かり保育が可能のため兄妹を連れていける事、地元の先生や学事課に相談し地域を超えて 2 週間単位で幼稚園に入れる事もあり、利用者の父親はリモートができるので付き添って家族で過ごすケースが増えた事など報告がありました。この点はハウスと小児ホスピスの共通点として共有しました。分科会で話し合われたことを発表し、分科会の共有としました。

閉会の挨拶を認定特定非営利活動法人ファミリーハウス江口八千代理事長が行い、第 22 回 JHHH ネットワーク会議は終了しました。

（ぶどうのいえ副理事長）

「医食同源 2」—植物繊維—

日本人の植物繊維摂取量は 1950 年代には 1 日当たり 20 g を超えていたのが穀類、イモ類、豆類等が減少する食生活になり、最近では一日当たり 14g 程度であると推定されている。

植物繊維は、便秘の予防による整腸効果以外に血糖値の上昇抑制、血中コレステロールの低下などに役立つことが判ってきた。

「ぶどうのいえだより」で以前、「医食同源」について述べたが、今回は食物繊維が豊富なキノコ類の中で特に話題のマイタケを紹介する。筆者が所属する日本化学会の会員誌『化学と工業』に掲載の「マイタケでもちもち米飯に」（2022 年 3 月号）や NHK あさイチで放送された「舞茸で牛肉を柔らかくする方法」（2021 年 12 月 28 日）を取り上げる。

まず手頃なものとして「マイタケでもちもち米飯に」について述べる。昔から米には約 7% のタンパク質が含まれている。このタンパク質がデンプンの糊化を阻害するために、おいしさに影響しているといわれている。その為、タンパク質を分解する酵素を持ったものを搜すと良いことになる。これにピッタリ合ったのはマイタケということになる。外食産業で用いる業務米にマイタケの抽出液を加えたところつやと粘りが増したという。これはマイタケ中に含まれるプロテアーゼという酵素がタンパク質を分解したことによるという。

このプロテアーゼを利用して、リーズナブルな値段の肉（赤みの固い肉で良い）を柔らかくしておいしく食べることができる。

- ・ もちもち米飯：米 3 合を 1.5 倍の水に常温で約 60 分浸け、醤油大匙 3 杯、日本酒大匙 2 杯を加え、食べやすい大きさに切ったマイタケ、油揚げ又は、牛肉を加え、炊飯器で炊き上げる。
- ・ 肉を軟らかくするには：マイタケ 40 g をみじん切りにして牛肉 200 g の上に乗せ、ラップで包み冷蔵庫で 2 時間寝かせる（豚肉の場合、30 分で良い）。すき焼きにする場合、肉に付いたマイタケも一緒に煮るとうまみの成分グアニル酸が出て味が良くなる。しゃぶしゃぶの場合も余ったマイタケも汁に追加すると良い。



筆者はどちらも試し、美味しく食べた。皆さま、いかがでしょうか。

堀内 昭（前ぶどうのいえ理事長）

★ ありがとうございました

寄附・会費納入の方々

（順不同・敬称略）

大隈廣 河野良夫 南みよ子 匿名 菊地純子 海治美佐子 大西健之 小林智子 尾松純子 尾崎正子 宮崎なを 立教女学院小学校児童一同 宮本順子 奥山正彦・維子 梅澤一江 恩田正雄 及川陽 小野三枝子 地引伸子 匿名 磯部雄彦 高橋知義 澤砥正美 渡邊誠 吉田孜 竹内幸子 板橋和子 福地桂之助 西野るり子 両角一恵 吉田あこ 堀内昭 堀内紀子 弥生一丁目町会 山添英子 榊まゆみ 小野寺達 五十嵐洋子 小野祥子 山内隆史 新福眞千子 福室美和子 木村純子 鈴木範子 長尾由紀子 鈴木紀郎 村山正昭 中村静子 矢崎美昭 有賀徹 匿名 中澤洋子 田中芳子 櫛田桃代 小林光江 草野宣子 片岡大造・仁枝 高橋遠 O.M. 松田道子 酒井三貴子 かあかのおうち吉永道子 匿名 渋谷聖公会聖ミカエル教会 山口學 藤田満智子 清家絢子 富山佳子 北関東教区婦人会 大西健之 匿名 鈴木洋二 三本松由利子 國吉礼子 織田恵子 匿名 久須美康

徳 青井雅美 匿名 国際ソロプチミスト東京弥生 志村弘子 大庭一己 家近美佳 小口淳子 春山次男 匿名 渡辺修一 大蔵浩之 兼子佐与子 橋本真美子 山野上素充 赤塚朱実 林秀雄 埼玉章子 西村翠・亮平 小山武子 岡村ゆき子 宮川裕子 竹内尚子 志木聖母教会婦人会 清水玲子 富岡房江 小島一祐 川合ナオエ 福田允子 匿名 東京聖テモテ教会 岸まち子 佐藤幸子 匿名 石田寿満・きよみ 三村信子 本間春枝 辻啓章（育美） 倉石昇 与良啓子 加藤誠 阿部基裕・順子 岡田良二 田中宏祖 萩田恭代 赤松元子 畑井正春 井上弓子 小林幸子 澤井美登里 コンノヒフミ 匿名 津田輝一 河内隆英 大西礼子 高橋幸 宮永勝 田中一郎 宮崎功 小見昭一 伊東孝司 中島和子 梅田晶子 辻朱美 花房正義 石渡康弘 幾永昌英 馬場良子 神田キリスト教会 別所文雄 丸山恒 大阪聖アンデレ教会婦人会 中川直美 匿名 広畑真弥子 山本敏子 古谷野亘 保坂久代 服部さち 藤井八郎・直 水之江光佐子 清水浩 阿部裕・園子 松野敦子 小杉みどり 匿名 松井和男 浅見泰子 瀬戸口哲子 匿名 川島羊子 松山聖ルカ教会 明治学院高等学校 暁星小学校シャミナード会 金井玲子 大隈廣 東弘彦 桑原恵美子 匿名 藤木和男 奥野貢 北村アイリーン 奥野央人 戸塚泰子 相川充代 塚田恭子 イマイノリヒロ 細谷ゆき子 平野淳子 西平心華子 前田美穂 小野翠 中嶋浩子 土井基子 鈴木公子 木村美樹枝 小田原聖十字教会花園幼稚園 一般社団法人親切会本部 大隈廣 聖オルバン教会 内ヶ崎儀一郎・昌子 磯谷敏幸 大滝豊 野辺恭子 聖パウロ教会 林さち子 藤井一功 香蘭女学校会長保坂久代 匿名 三光教会 聖マーガレット教会 ゆうちょ銀行 香蘭女学校 鈴木百合子 日立金属(株) (株)日立製作所 (株)日立ソリューションズ (株)日立リアルエステートパートナーズ (株)日立システムズ (株)日立保険サービス (株)ハイテック 日立建機(株) (株)日立物流 (2021 年 11 月 31 日～2022 年 3 月 31 日)

お詫び

ぶどうのいえだより第 84 号に、寄付者名の記載が抜けていました。
お詫びして、訂正致します。

「一般社団法人 親切会本部」様

編集後記

ツツジの美しい季節となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。
ぶどうのいえのお庭は花盛りです。滞在の予約も入り始めました。
少しずつ日常が戻っています。この状況がさらに良くなりますようにと願います。
(編集：西田、堀内紀)

認定 NPO 法人 ぶどうのいえ

ホームページ <http://www.budounoie.jp/>
E-mail info@budounoie.jp
郵便振替口座名 特定非営利活動法人ぶどうのいえ
郵便振替口座番号 00120-2-540161